

昭和60～平成10年代

(1) 県指定「環境教育推進事業」

平成4・5年県教育委員会より、環境教育推進事業「緑の基金による委託事業」の指定をうけた。花いっぱい運動を中心として学校全体で取り組む環境教育の実践をめざした。生徒・教職員・保護者が一体となって学校の緑化事業を推進し、落ち着きと潤いのある学習環境をつくってきた。

保護者による花壇づくり



サルビア・マリーゴールドの咲く学校園



環境教育推進事業報告書より抜粋

花壇、庭園の造成では、PTA や地域の有志、地元の企業、団体の厚い奉仕を得て完成した。それらを身近に感じている子どもたちも積極的にいろいろな作業に参加した。おかげで、自分たちの花壇という意識や勤労の尊さを学んだ。

花を育てる作業の中で、花を育てる難しさを学ぶとともに、生命に対する畏敬の念を体得できた。

(2) コンピュータ室 新設

① コンピュータの導入について

平成5年度から新教育課程全面実施にともない、技術・家庭科に「情報基礎」が新設され、コンピュータの仕組み、基本操作、プログラム作成、利用等について学習することになった。数学科、理科においても必要に応じコンピュータ等を効果的に活用することが明記された。本校においても、教室の設置、機器の選定、周辺機器やソフトの導入計画について慎重な協議がなされ、平成5年12月27日新館3階にコンピュータ室を新設した。